

経営比較分析表（令和4年度決算）

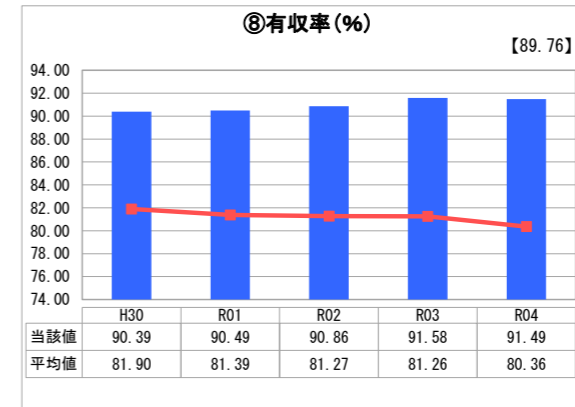
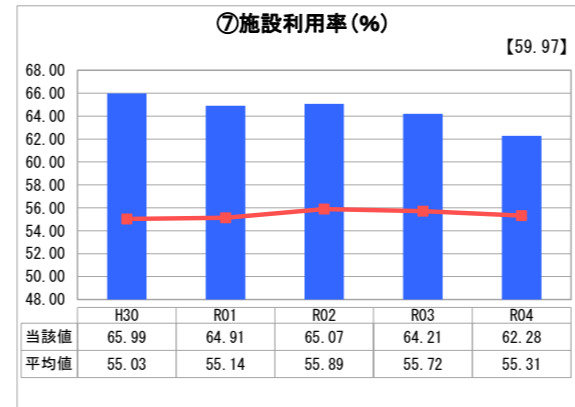
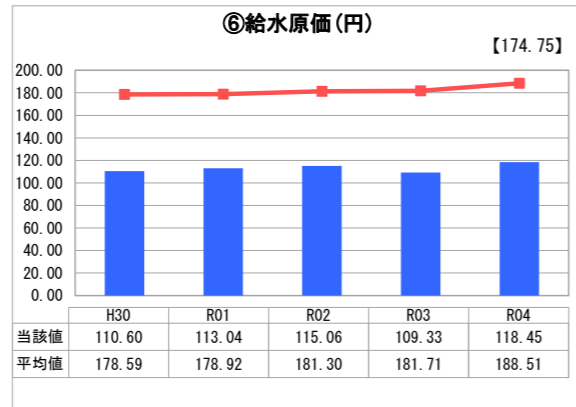
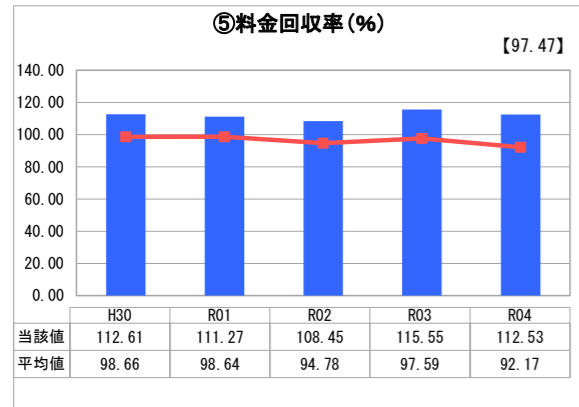
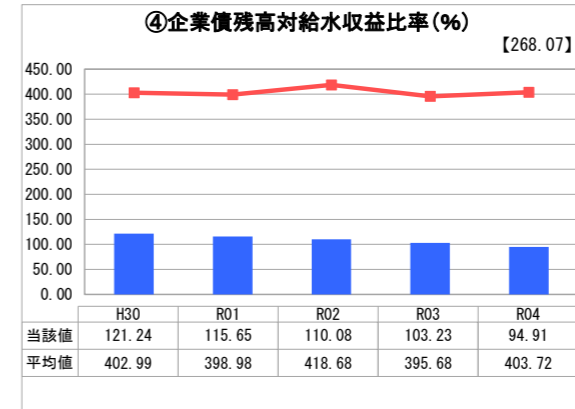
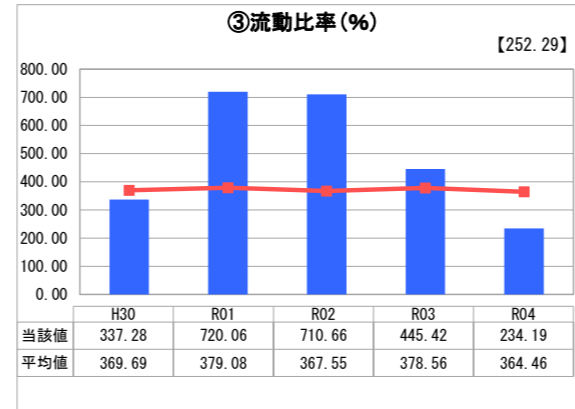
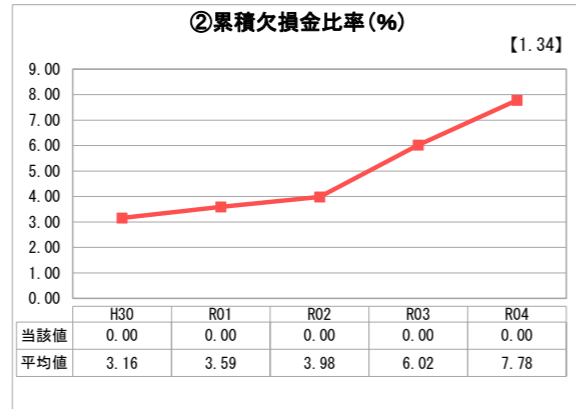
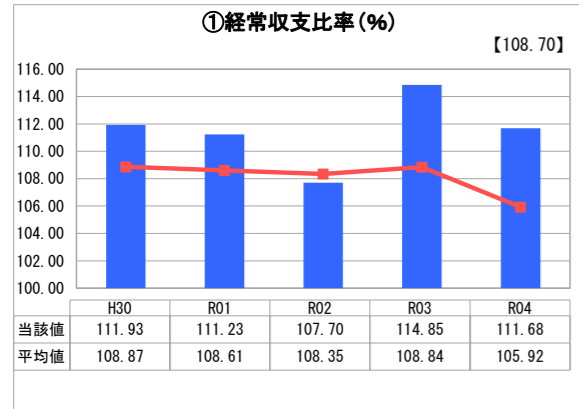
熊本県 八代生活環境事務組合（事業会計分）

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	83.10	18.70	3,020	

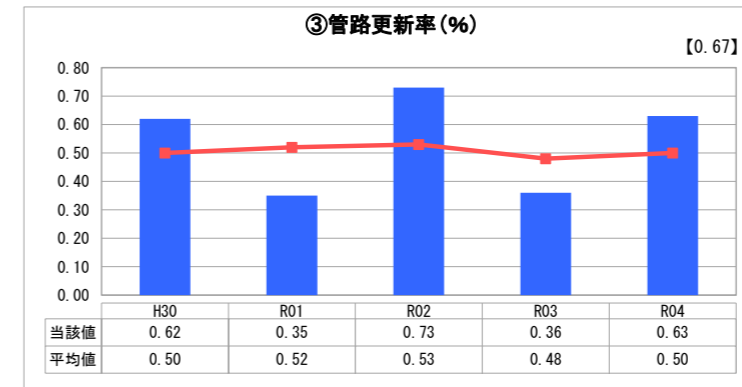
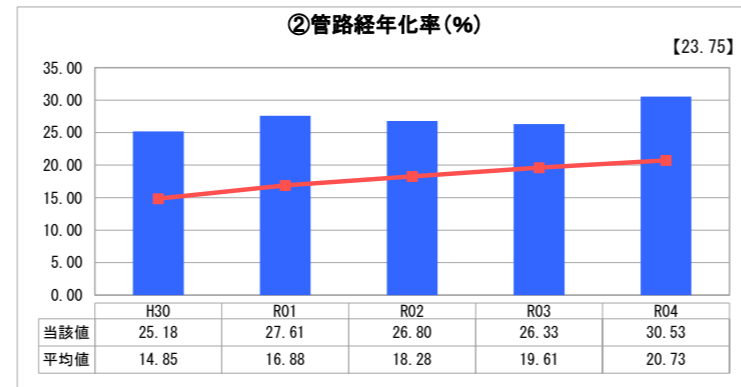
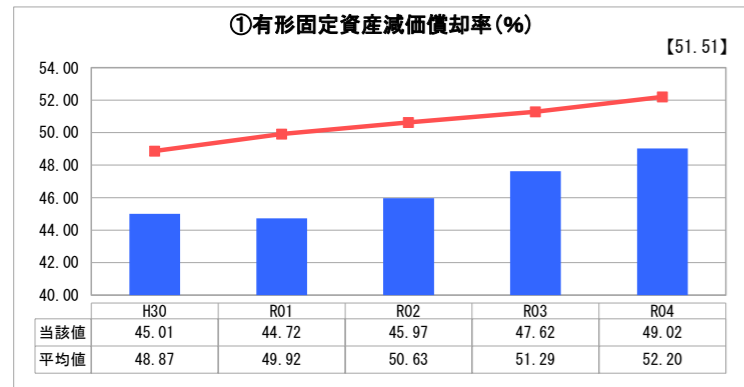
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
24,887	403.86	61.62

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を上回る数値で推移しており、黒字経営を維持しています。
- ② 累積欠損金は、発生していません。
- ③ 流動比率は、前年度に比べ大きく減少し類似団体及び全国平均に比べ低い数値にあります。これは、浄水場の耐震化工事等による未払金の増加によるものですが、流動資産が流動負債を上回っており、十分な支払能力があるといえます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、平成26年度以降企業債の借入を行っていないため、減少傾向で推移しております。
- ⑤ 料金回収率は、100%を上回っており、給水に係る費用が料金収入によって賄えているといえます。
- ⑥ 給水原価は、平均値に比べ低く抑えられています。
- ⑦ 施設利用率は、配水量の減少に伴い減少傾向にありますが、平均値を上回っており、今後も水源である水川ダム水利権の範囲内での適切な運用に努めます。
- ⑧ 有収率は、平均値に比べ高い数値となっております。適切な維持管理を行えていることが給水収益に反映されていると考えられます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、平均値を下回っていますが、上昇傾向であり、管路の老朽化が進んでいます。
- ② 管路経年化率は、平均値を上回っており、法定耐用年数を経過した管路の割合が高い値にあります。
- ③ 管路更新率は、前年度より上昇し全国平均に近い値となっております。平成28年度から開始した浄水場の耐震化工事を優先的に施工していますが、当該工事の竣工である令和5年度以降は、管路更新事業に移ってまいります。

全体総括

現時点では、経営の健全性及び効率性については、概ね確保できているといえます。一方、管路の老朽化状況は、類似団体及び全国平均に比べ進んでおり、年々上昇傾向にあり老朽化施設等の計画的な更新が求められます。この更新には、将来の浄水場及び導送水管更新事業と併せると膨大な事業費が必要となります。この資金積立の為、新水道ビジョン及び経営戦略に基づき令和4年10月に料金改定を行いました。今後もこれらの計画を基に安定した経営を継続できるよう努めてまいります。